

戦略的
方向性
目 戦略

運動やスポーツが好きな子どもを増やす取り組みの充実

- 各種スポーツ体験会等への参加機会の拡大
 - ・マッチングプログラム参加者 R2:780人 → R3:840人 → R4:890人
- 指導者・保護者への支援の充実

(1)スポーツを「始める」きっかけづくりの充実

- ①親子で参加できるスポーツイベントの開催
- ◆**マッチングプログラム I (対象 5~8歳・県内3地域)**
 - ・親子でボールを使った運動遊び体験会の開催
 - ・スポーツ要素を取り入れた運動遊び体験会の開催
 - ◆**スポーツJAMフェスタ (体験イベント) 年/1回**
 - ・子ども、障害者、高齢者、親子等、誰でも参加できる企画の充実

(2)スポーツを「続ける」機会の充実

- ①適性に応じたスポーツに出会う機会の拡大
- ◆**マッチングプログラム II (対象 9~12歳)**
 - ・体力測定会の開催 (中部/1回)
 - ・競技体験教室の開催 (県内3地域/各1回)
 - ⇒**【新規】プログラム参加者を身近な地域のスポーツ活動へつなぐ取り組みの実施**
 - ◆**高知くろしおキッズ**
 - ・選考会による有望選手の発掘 (1次/2回 2次/1回)
 - ・様々な運動プログラムやスポーツ体験プログラムの実施 (年間18回)
 - ⇒**【新規】選考会参加者への情報提供の充実** (競技団体主催の選考会や各種スポーツイベントの情報等)

(3)指導者・保護者向け研修会の充実

- ①スポーツ医科学の普及
- ◆**【拡充】県スポーツ科学センター(SSC)による研修会の拡充**
 - ・ジュニアを指導するスポーツ指導者や保護者を対象にしたスポーツ医科学研修会の実施
 - ・リモートを活用した研修会の充実
- ②指導者講習会の開催
- ◆**高知県スポーツ協会との連携**
 - スポーツ少年団の指導者向け研修会等の開催
 - ・スタートコーチ養成講習会
 - ・スポーツ少年団指導者研修会
 - 公認スポーツ指導者資格講習会
 - 全高知チームにおける県内指導者の研修

子どものスポーツの空白を埋めるための環境づくり

- 子どものスポーツ環境の空白を埋める取組を行う地域スポーツハブの拡大 (地域部活動の受け皿を含む) (取組を実施する地域スポーツハブの数) R2:3 → R3:4 → R4:8

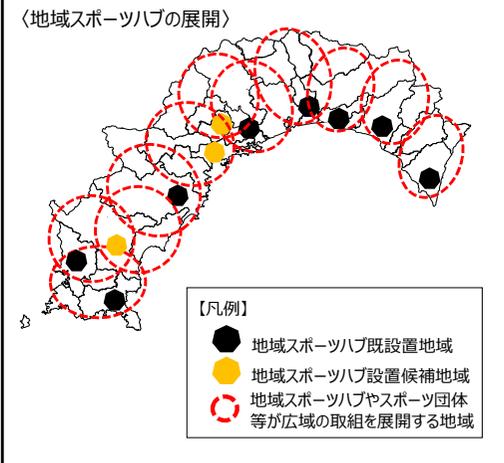
【拡充】(1)子どものスポーツ環境づくりに向けた取組への支援

①地域スポーツハブによる子どものスポーツ環境づくり

地域スポーツハブが核となり、地域のスポーツ環境の空白を埋めるための受け皿づくりを行う取組を支援。

ア.地域の実情の把握
イ.地域の関係者と現状や課題の共有
ウ.地域の実情に応じた取組の方向性の確認
エ.具体的な受け皿づくりの実施

- <受け皿づくりの取組例>
- 総合型地域スポーツクラブにおける新たなスポーツサークルの立ち上げ
 - 競技団体と連携した新たなクラブチームの立ち上げ
 - スポーツ少年団において複数の種目で活動できる複合団体の促進
 - スポーツ少年団における中学生の受入れ拡大
 - 地区体育会における子どもの活動の受け入れ



運動部活動の充実

- R3: 合同部活動及び地域部活動の実践及び課題解決の方向性の整理
- R4: 条件整備の方向性の取りまとめ (○R5: 地域における取組の段階的な推進)

【拡充】(1)合同部活動の推進

- 市町村の枠を越えた他校との合同部活動を推進
- 県内大会の在り方の整理・検討
- 生徒や指導者が移動することなく活動が可能となるリモートの活用促進

【新規】(2)地域部活動の段階的な推進

- 休日の部活動の段階的な地域移行
 - ・休日の地域部活動を推進する拠点校の整備 (スポーツ庁モデル事業の活用)
 - ・課題の整理及び課題解決に向けた取組 (指導者の確保、活動にかかる費用負担、安全面の確保 等)

※地域部活動の推進における地域スポーツハブに期待される役割

- 地域部活動の受け皿づくりの検討・調整
 - ・スポーツ少年団、総合型クラブ、競技団体など受け皿となる団体との調整
 - ・指導者や活動場所の確保
 - スポーツ少年団や総合型クラブ、クラブチーム等による地域部活動の受け入れ促進
- 運動部活動の充実に向けた支援
 - ・合同部活動の検討に係る近隣市町村の関係者との調整支援
 - ・外部指導者 (運動部活動指導員) の確保
 - ・リモートによる活動の支援
 - 合同部活動や既存の部活動の取組の充実

【拡充】(3)高等学校運動部活動の充実

- 高等学校や地域の関係者からのヒアリング及び対策の検討
- 運動部活動活性化事業の実施
- リモートによるスポーツ医科学面からの指導・助言の促進

障害児のスポーツ機会の拡充

- R3, R4: 障害者が継続して活動している団体やサークル等の増加

【新規】障害者スポーツセンターにコーディネーターを配置し、関係団体等と連携して障害児のスポーツ機会の拡充を図る

【拡充】(1)障害児が気軽にスポーツに参加できる環境づくり

- 健全者と障害児・者が一緒に参加できる大会の開催及び普及
 - ・ユニバーサルスポーツイベントの開催
 - ・総合型地域スポーツクラブと特別支援学校等が連携したスポーツ交流大会の実施
- 新たなスポーツ大会等の開催
 - ・地域スポーツハブによる障害者のスポーツの機会を提供する取組の推進
 - ・県社会福祉協議会によるスポーツ大会の開催 (東部: フライングディスク大会 西部: 陸上記録会)
- 特別支援学校の運動部活動における外部指導者の活用促進
 - ・特別支援学校における運動部活動指導員の活用促進
- 既存のスポーツ団体における障害児の受け入れ促進
 - ・地域スポーツハブによる総合型地域スポーツクラブ等における障害者の受け入れ促進

【拡充】(2)関係機関・団体とのネットワークによる取組の推進

- 障害者スポーツセンターのコーディネーターによる関係機関・団体のネットワークの強化
 - ・関係機関・団体等へのスポーツ情報の発信・共有
 - ・障害者スポーツの理解啓発の取組の推進
 - ・スポーツ活動において障害者をサポートできる人材の掘り起こし 等
- 関係機関・団体等との連携強化による障害児のスポーツ機会の拡充
 - ・既存の活動への支援の充実
 - ・新たなスポーツ環境づくり
 - ・障害当事者とスポーツ活動とのマッチング
 - ・競技性の高い取組の支援

取組方針・主な「◆具体的な取り組み」